# (公社) 日本気象学会 沖縄支部だより

発行:日本気象学会沖縄支部事務局 〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15 那覇第一地方合同庁舎 沖縄気象台防災調査課内

# 平成29年度沖縄支部研究発表会

平成30年3月7日、恩納村の情報通信研究機構 (NICT) 沖縄電磁波技術センターにおいて、沖縄 支部研究発表会を35名の参加で開催しました。

研究発表会では、昨年から大幅に増えた計13題 の発表があり (琉球大学8題、沖縄気象台3題、 情報通信研究機構2題)、様々な知見を共有するこ とが出来ました。今回は、女性の発表が4題、英 語での発表が2題あったことが特徴的でした。

発表の要旨は、以下 URL からご覧ください。 http://www.msjok.com/study/2017.pdf

# 開会あいさつ (概要) : 益子直文 理事

ここ沖縄というところは、非常に気象の変化に 富んでいると改めて思う。亜熱帯気候にあって、 周辺を海に囲まれて黒潮が流れ、台風の常襲地帯 でもあり、スコールをはじめとして、非常に激し い現象が起こっている。このような自然を体感す る中、気象への関心が高まり、その気象を解明し たい、真実を追求したいと いう気持ちがおのずと沸き あがってくるのだと思う。

今回の発表会では、これ らの現象に対し、さまざま な観点から多くの研究成果 の発表が予定されている。 予稿集を拝見したところ、

台風の特徴や現象解析、数値実験に関するもの、 大気と海洋の熱交換に着目したものなどバラエテ ィに富んだ研究がなされているように感じた。や はり、沖縄の気象に直接触れた人ならではの着想、 発想、また、あくなき自然の本質への探求がある のだと思う。ぜひ本日は忌憚のない意見交換をお 願いする。みなさまのさまざまな視点からの活発 な議論によって、新たな知見が獲得できて、それ によって自らの研究がさらに深まることを願う。

#### ○研究発表会の模様





#### 閉会のあいさつ (概要) : 山田広幸 理事

いろいろな発表が聞け、活発な質疑が交わされて非常に楽しく聞かせていただいた。改めて思うのは、沖縄での気象現象は難しい。何がきっかけで積乱雲ができて雨が降ってくるのか、そこの因果関係がはっきりしていない現象がすごく多い。それは孤立の積乱雲から前線、台風のような大きい現象でもそうで、そこに海がどのように関わっているかということもある。それをどう観測して、予報に活かすかというところが、はっきり確立していないところが、予報現業の皆さんにはもどかしさがあると思うし、研究する側としてはまだまだ研究の余地があって、非常に面白いフィールド

だと改めて思った。これは沖縄にいる我々が明らかにしていくことでもあると同時に、2020年にアメリカと台湾が合同で与那国から台湾あたりにかけて特別観測をすることがほぼ確定しており、彼らに成果を持っていかれる前に、我々のやっていることを明らかにしていきたいし、のんびりはできないと考えている。今後も活発に予報現場の皆さんと研究サイドの皆さんが議論を交わしながら研究を進めていけたらいいと思う。

沖縄にいて気象に関わる人が一堂に集まって研究会を行うのはとてもいい機会なので、次年度も 参加いただきたい。

#### ○施設見学の模様

当日は研究発表会に先立ち、沖縄電磁波技術センターの施設見学会を行いました。











# 報告:離島お天気教室

次の日程で離島お天気教室を開催しました。

H29. 7.13 竹富町立黒島小中学校

H29.11.7 与那国町立与那国小学校

H29.12.15 北大東村立北大東小中学校

H29.12.19 多良間村立多良間小学校

#### ○黒島小中学校(共催:石垣島地方気象台)

参加者:児童12名・生徒6名 教職員16名 見た目怪しげな「お天気マスター」から竜巻に ついてユーモア交えた解説がありました。解説の 途中、ダストボックスの底をくり貫いて作った「突風マ シーン」(空気砲)を登場させ、児童生徒の関心を盛り上 げていました。続いて、竜巻、大気圧、熱気球、雲 発生の各実験で気象現象を体験してもらいました。





#### ○与那国小学校(共催:石垣島地方気象台)

参加者:児童87名、教職員12名、保護者6名 比川地区にある比川小学校と合同で実施しました。最初に「防災マスター」(お天気マスターの別名)が「自然災害のはなし」と題して、様々な実験器具を用いて気象現象を再現しながら解説がありました。続いて、竜巻、大気圧、熱気球、雲発生の各実験で気象現象を体験してもらいました。熱気球実験では会場は大きな歓声で沸きました。





#### ○北大東小中学校(共催:南大東島地方気象台)

参加者:児童34名、生徒19名、教職員10名 気象に興味を持たせる事を目的に、ミニ講話と 各種実験を行いました。ミニ講話では「台風について」と題し、雲の発生から台風ができるまで、 台風への備えについて分かり易すく解説しました。 続いて、竜巻、熱気球、雲発生の各実験で気象現象を体験してもらいました。熱気球実験では、体 育館中に歓声が響き、児童が大変興味を持った様子でした。





#### ○多良間小学校(共催:宮古島地方気象台)

参加者:児童41名、教職員5名

多良間島では5年ぶりの開催です。「ふれて楽しむ天気の不思議」と題して、多良間島と東京の気温や降水量の比較、雲・雨のしくみ、雷から身を守

ることについて子供達の好きなアニメを交えて解 説しました。続いて、竜巻、大気圧、熱気球、雨 量計の各実験で気象現象を体験してもらいました。 展示した数万年前の南極の氷の前では、「プチプチ」 と氷がける音に聞き入っている子どもたちが印象 的でした。



# 報告:子ども気象学士教室

平成29年8月7日~9日にかけて、「子ども気象学士教室」を開催しました。受講生の児童13名と保護者を合わせた22名の参加がありました。3日間の子ども気象学士教室の日程は、最初の2日間で5つの講義があり、全講義終了後に認定試験を行います。最終日は、琉球放送の気象キャスター田地さんの講話「本物の気象予報士のはなしを聞こう!」、気象実験、そして認定試験の結果発表です。



最後に子ども気象学士認定式を行い教室は終了しました。3日間ともマスコミからの取材があり、沖縄支部のいいアピールができました。気象実験では、今年も火山噴火モデル実験が大人気で、噴火の瞬間に大きな歓声が上がりました。





# 報告:離島防災気象講演会

石垣島地方気象台、自治体、沖縄県との共催で 防災気象講演会を行いました。この事業は離島お 天気教室にあわせて行っています。

#### ○7月12日 黒島

場所:黒島伝統芸能館、参加:20名 講演者:山田広幸 沖縄支部理事

(琉球大学理学部准教授)

演題:「台風とうまく付き合う方法」



#### ○11月6日 与那国島

場所:与那国町保健センター、参加:20名

講演者:伊藤耕介 沖縄支部理事

(琉球大学理学部助教)

演題:「台風と航空機観測」



# 報告:気象サイエンスカフェ

平成29年9月9日に那覇市泉崎のCafé Ventoで第2回気象サイエンスカフェin那覇を開催しました。話題の雲科学者、荒木健太郎をゲストに迎え、「空を楽しむための雲科学」のテーマで話題提供がありました。



映し出される色鮮やかな写真やイラスト、大きな文字を配置した印象的なスライドに目を引かれました。トークでは様々な雲の成り立ちや大気光象等の解説に感心するとともに、荒木氏の雲を愛する気持ちが強く伝わりました。途中設けられた、「自分の好きな雲」についてグループディスカッションを行ったことで、ゲスト、参加者同士の距

離感はより近くなり、雰囲気よく科学コミュニケーションを行うことができました。県外からの参加者もあり、会場は満席の大盛況に終わりました。 (共催:日本気象予報士会沖縄支部、沖縄気象台)

# 報告: 気象講演会

平成30年3月2日沖縄気象台において気象講演会を開催しました。講師に山田広幸 琉球大学理学部准教授迎え、全国的に話題となった平成29年10月の航空機による台風観測について講話をいただきました。

題 目:「台風第21号の航空機観測の概要」

参加者:53名



飛行前の計画では、壁雲の外側を周回するだけの予定が、壁雲への接近時に航空機搭載レーダーの画像を見ながら操縦士と検討のうえ、眼の中に突入することに変更し、壁雲の内側でゾンデ観測を行うことに成功しています。この翌日の飛行とあわせて、壁雲の内側には合計3回も進入されています。

# 報告:その他

○防災気象講演会(共催:沖縄気象台、沖縄県等)

日付:2018年1月23日 場所:浦添市てだこホール

参加:130名



## ○親と子のお天気教室(後援)

日付:2017年8月2日

場所:西原町さわふじ未来ホール

参加:184名



## ○**凌風丸見学会** (後援)

日付:2017年12月16日 場所:那覇市 那覇港新港

参加:17名



# 事務局からのお知らせ

#### ■「沖縄支部だより」への原稿募集

「沖縄支部だより」へ掲載する会員からの原稿を 募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の自由な投稿をお願いします。

# ■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際に は、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き(オンライン申請)気象学会本部ページの「入会案内」ページ(以下 URL) にて登録情報の変更を行います。

http://www.metsoc.jp/about/join

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「会員登録情報の変更」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がありましたら事務局へお尋ねください。

#### ■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部 全会員に E-mail で配信しています。まだ登録され ていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail ア ドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に「<u>会員登録情報の</u>変更」からのオンライン申請でお願いします。

#### ■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象 関連の仕事をしている・気象に興味を持っている ような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会 への入会をお勧めいただくようお願いします。支 部事務局へご連絡いただければ、入会方法などご 案内します。

日本気象学会沖縄支部事務局

TEL: 098-833-2186 FAX: 098-833-4292